



3学期もよろしくお願いたします

園長 佐野 実

3学期が始まりました。皆様どのような冬休みを過ごされたでしょうか。この年末年始は、昨年、一昨年と比べますと、「お正月らしさ」が少し戻ってきたのではないのでしょうか。しばらく会えなかった祖父母、親戚の皆様と久しぶりに会えた方もいらっしゃるかもしれません。また、お正月は冬の寒い季節の雰囲気や、食事も含めた伝統文化に触れやすいときでもあったことと思います。

幼児期の子どもたちに育ててほしい力の一つに「社会生活との関わり」があります。家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、身近な人との触れ合いをとおして人との様々な関わり方に気付いたり親しみを感じたりしてほしいというものです。たとえ親戚と会う機会がなくても、親子で過ごす時間を少しでも多くもつことができれば十分です。年末年始の時期が、そのような場になっていけばなによりです。

幼稚園では「雑煮会」で伝統食に触れるとともに、準備の段階で地域の商店街に買い物に出かけます。また、親子遊びデーで、かるた遊びやこま回しをするなど、伝統文化に触れたり社会生活との関わりをもったりする機会になるような行事を計画しています。一つ一つの行事や活動の意味を大切にするとともに、活動のねらいを保護者の皆様とも共有しながら子どもたちの育ちにつなげていきたいと考えています。

3学期もどうぞよろしくお願いたします。



1月の保育のねらい

- <年少> ・ 戸外で思い切り体を動かして遊ぶことを楽しむ。
 - ・ 友達や教師と一緒に、いろいろな表現遊びを楽しむ。
- <年中> ・ 自分の思いを友達に伝えたり、友達の考えを取り入れたりしながら遊ぶ。
 - ・ 自分なりのイメージをもって表現することを楽しむ。
 - ・ 冬の自然に触れたり、戸外で体を動かしたりして遊ぶ。
- <年長> ・ 目標に向かって繰り返し取り組む楽しさや、できた満足感を味わう。
 - ・ 学級の中で自分の力を発揮し、友達と協力してやり遂げた達成感や満足感を味わう。
 - ・ 冬の自然に興味や関心をもち、見たり触れたりしながら遊びに取り入れる。

